

【発行者】新潟農業普及指導センター
 新潟庁舎：0250-24-9624、津川分室：0254-92-0965

品質向上に向けて、まずは健苗育成と土づくり！

今年の健苗育成はここがポイント！！

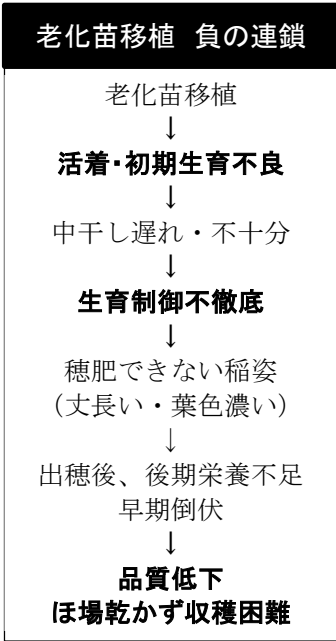
- 1 田植日から逆算して育苗計画を作成（コシ5/10 田植→4/20 播種）
- 2 育苗期病害予防のため、種子消毒は体系処理
- 3 発芽揃いを良くするため、浸種開始時の水温は10～15℃を確保

1 田植日から逆算して育苗計画を作成

- 育苗期間が長すぎると田植時に老化苗になりやすく、活着不良や初期生育の遅れにつながる（稚苗の目標：葉齢2.0）。
- 播種日は田植日から逆算して決定する。コシヒカリの場合は4/20以降とする（田植日の目標5/10以降のため）。
 育苗日数のめやす： 加温育苗の場合 16～18日
 （4/20以降播種の場合） 無加温育苗の場合 18～20日

4月の播種スケジュール(例)

| 日曜日 | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 | 土曜日 |
|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| | | | | ①塩水選 | ③風乾 | |
| | | | | ②種子消毒 | | |
| 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| ④浸種 | | | | | | |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| | | | ⑤催芽 | | ⑥播種 | |



〈健苗育成のポイント〉

① 塩水選：良質な種籾の選別

- 充実した種籾を選ぶために、塩水選を必ず実施する。
- 塩水選後は種籾を十分水洗い・水切りする。

表 塩水選に用いる塩水の作り方

| 籾種類 | 塩水 比重 | 水 10L 当たり投入量 | |
|-----|----------|--------------|-------|
| | | 食塩 | 硫安 |
| うるち | 1.13 | 1.9kg | 2.5kg |
| もち | 1.08 | 1.1kg | 1.4kg |

② 種子消毒：育苗期病害の防除

- 種子消毒剤や温湯消毒、微生物農薬の単独処理では細菌性病害の防除効果が劣るため、種子消毒+育苗箱処理の体系防除を徹底する。
- 水に浸けた種子では発芽率が大幅に低下するため、温湯消毒を行う場合は乾籾を必ず用いる。また、ばか苗病の防除効果を高めるため温湯消毒は微生物農薬と併用する。
- 網袋に入れる種籾の量は袋の7割程度以下とする。
- 種子消毒剤を用いる場合は、低濃度浸漬よりも湿粉衣や高濃度浸漬の方が効果大きい。

③ 風乾：消毒効果の向上

- 風通しの良い日陰で、籾の表面が乾き、薬剤が固着するまで乾かす。

④ 浸種：発芽揃いの均一化

- 種籾を漬ける水の量は、種籾容量の2倍程度（籾1kgあたり水3.5L）。
- 特に浸種開始時の水温を10℃未満にしない。浸種水温は10℃～15℃とし、積算水温

100℃をめやすに行う。

- 消毒効果を高めるため、前半の4日間は水を替えず、その後2~3回水を更新する。
- 複数の品種を一緒に浸種する場合は、品種毎に芽の動きを確認する。
※「コシヒカリ」及び「こしいぶき」の平成29年産種子の休眠は平年並（作物研究センター調べ）

⑤ 催芽：出芽の促進

- 催芽機の設定温度は30℃以下とし、ハト胸状態の種籾が80%以上となるまで催芽する。



⑥ 播種：健苗育成のための薄播き

- 播種量は乾籾で130~140g/箱（催芽籾で160~170g/箱）とする。



⑦ 播種～出芽期までの管理（無加温育苗の場合）：育苗障害の防止

- 生育促進のため、播種後十分にかん水する。
- 育苗期病害や障害発生防止のため、出芽期間中はハウス内が30℃を超えたら換気する。
- 出芽時に覆土の持ち上がりが見られたら、かん水して覆土を沈下させる。
- 徒長苗防止のため、被覆資材を長期間かけ過ぎない。
- 根張りを良くするため、水のやりすぎは厳禁。

2 気象変動に負けないイネづくり～作土深の確保と土づくりの実践～

① 作土深 15cm の確保 ～耕耘作業はほ場が乾いた状態で実施～

- 作土を深くすると根量が増え、イネの養分吸収量が増加し収量や品質が向上する。
- 根の分布を広げるため、毎年1cmずつ深く耕耘して耕深15cmを確保する。
- 土の練りすぎによる透水性悪化を防ぎ、均一に耕耘するため、耕耘前に溝切りや周囲明渠により排水を促進し、ほ場を乾かす。

② 土づくりの実践

- 土壌分析結果に基づき、ケイ酸等不足成分を補充する土壌改良資材を施用する。
- 砂質等の秋落ち水田では、鉄分やマンガンを補給して根腐れを防止する。

メールマガジン登録募集中！

5月末から9月中旬まで水稻生育状況や栽培管理のポイントをお届けします！
登録ご希望の方は以下のアドレスにご連絡を！

ngt112130@pref.niigata.lg.jp

※件名に「メルマガ登録希望」、本文に「お名前」と「住所」をご記入ください